

編集顧問

阿部 弘
岩崎 喜信
大本 堯史
河瀬 斌
菊池 晴彦
桐野 高明
高倉 公朋
田中 隆一
西本 詮
橋本 信夫
早川 徹
平川 公義
堀 智勝
吉田 純
吉本 高志

編集委員

佐々木富男
(編集委員長)
新井 一
岡田 芳和
片山 容一
斉藤 延人
高安 正和
伊達 勲
富永 悌二
寶金 清博
宮本 享
吉田 一成
吉峰 俊樹
若林 俊彦
(五十音順)

本号の発行は、未曾有の大震災から1年目に当たる。甚大な被害を受けた、東北新幹線、仙台空港が、衆人の予想に比して早い時期に復興し、日本もたいしたものだと感じた人も少なくないと思う。しかしながら、被災地の多くの復興は、遅々として進んでいないようである。管轄の異なる既存の多数の法律が、復興計画の妨げになっているとも聞く。総理大臣が毎年変わる不安定な政権にも大きな問題があろう。政治の重要性を、しみじみと感ずる今日この頃である。

「扉」で片岡和夫先生が、震災後に、再び頻繁に耳にするようになった、「想定外」という言葉を取り上げて、医療における不慮、不測の問題を語られている。ヒト由来乾燥硬膜の移植による医原性プリオン病の発生は、メーカーや管轄省庁にも大きな責任があるが、「脳」という神の領域にメスを入れている脳神経外科医にとっては、忘れてはならない問題である。治療がうまくいけば、神様のように思っただけだが、ひとたび合併症が起されば、脳という臓器の特異性から極めて重篤な事態となり、脳神経外科医は、患者様、ご家族にとっては、悪魔にもなってしまう。ときには、刑事責任を負うこともありうる。「想定外」、「不測」の意味をいまさら解説する必要もないが、「想定外」、「不測」の事態は、あくまで、その人にとって「想定外」、「不測」であったわけである。幅広い知識、技量、判断力などがあれば、想定できるのではないだろうか。本号には、総説、研究が各1編、症例8編の原著論文が載っている。「想定外」という観点からすると、総説や研究論文は、どちらかという教科書的な最新の情報を与えてくれるもので、症例報告の中には、病態、治療などに関して、「想定外」の事項が記載されている。前述のように、技量を磨くことにより、多くのことを想定できるようになる。最近では、主要なジャーナルが症例報告をあまり採用しない傾向にあるが、本誌は日本語であるということに加えて、症例報告を多く採用している。このことは、脳神経外科医が、「想定外」を少なくし、医療の安全性、水準の向上に寄与しているものと考ええる。これからも、臨床の現場で不慮、不測の事態が起きた時に、問題を十分に解析して、その対応策を示すような論文を多数投稿していただきたい。

Neurological Surgery 脳神経外科
(第40巻第3号)

2012年3月10日発行(毎月1回10日発行)

定価 2,730円(本体2,600円+税5%)

〔2012年 年間購読料(税込み、配送料弊社負担)〕
冊子版/通常 32,760円、冊子版/個人特別割引 30,030円、冊子+
電子版/個人特別割引 35,030円、冊子+電子版/共有 42,700円、
電子版/個人特別割引 30,030円、電子版/共有 37,700円

E-mail: noge@igaku-shoin.co.jp http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/noge/

投稿論文オンライン受付 ID: noge パスワード: noge

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701

(担当: 松田・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)リーブルテック 電話 (03) 3927-6411

広告申込所 (株)ハイブリッジエージェンシー

電話 (03) 3814-0089

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2012, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
・ 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ JCOPY<(社)出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。